

試験日	令和8年5月20日
-----	-----------

受験番号	
------	--

一般貨物自動車運送事業の経営許可等の申請に係る法令試験問題

申請者(法人)名 _____

受験者の氏名 _____

(注意事項)

1. 事業者とあるのは、一般貨物自動車運送事業者（特別積合せ貨物運送に係るものを除く）を指します。
2. 設問の文中には、法令上の表現（固有名詞を除く。）を一部省略しているものもあります。

I. 次の記述のうち、正しいものには○を、誤っているものには×を()内に記入しなさい。

問1【貨物自動車運送事業法】(定義)

この法律において「貨物自動車利用運送」とは、一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業を営業者が他の一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業を営業者の行う運送（自動車を使用して行う貨物の運送に係るものに限る。）を利用してする貨物の運送をいう。

()

問2【貨物自動車運送事業法】(事業計画)

事業者が業務を行う場合には、事業計画に定めるところに従わなければならない。国土交通大臣は、事業者がこの規定に違反していると認めるときは、当該事業者に対し、事業計画に従い業務を行うべきこと及び役員解任を命ずることができる。

()

問3【貨物自動車運送事業法】(輸送の安全性の向上)

事業者は、輸送の安全の計画が最も重要であることを自覚し、適宜輸送の安全性の向上に努めなければならない。

()

問4【貨物自動車運送事業法】

(他の一般貨物自動車運送事業者の行う貨物の運送を利用する場合の措置)

一般貨物自動車運送事業者は、自らが引き受ける貨物の運送について他の一般貨物自動車運送事業者の行う運送(自動車を使用しないで貨物の運送を行わせることを内容とする契約によるものを除く。)を利用するときは、当該他の一般貨物自動車運送事業者に係る一般貨物自動車運送事業の健全な運営の確保に資するため、次に掲げる措置を講じなければならない。

- 一 その利用する運送に要する費用の概算額を把握した上で、当該概算額を勘案して利用の申込みをすること。
- 二 自らが引き受ける貨物の運送について荷主が提示する運賃又は料金が前号に規定する概算額を下回る場合にあっては、当該荷主に対し、運賃又は料金について交渉をしたい旨を申し出ること。
- 三 当該他の一般貨物自動車運送事業者が更に他の一般貨物自動車運送事業者の行う運送を利用する場合に関し二以上の段階にわたる委託の制限その他の条件を付すること。
- 四 その他一般貨物自動車運送事業の健全な運営の確保に資するためのものとして国土交通省令で定める措置

()

問5【貨物自動車運送事業法】(事業改善の命令)

国土交通大臣は、一般貨物自動車運送事業の適正かつ合理的な運営を確保するため必要があると認めるときは、事業者に対し、貨物の運送に関し生じた損害を賠償するために必要な金額を担保することができる保険契約を締結することを命ずることができる。

()

問6【貨物自動車運送事業法施行規則】（事業の休止及び廃止）

一般貨物自動車運送事業の休止又は廃止の届出書には、休止又は廃止を必要とした理由を記載しなければならない。

()

問7【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（一般貨物自動車運送事業者等による輸送の安全にかかわる情報）

事業者等は、国土交通大臣から貨物自動車運送事業法の規定による処分（輸送の安全に係るものに限る。）を受けたときは、遅滞なく、当該処分の内容並びに当該処分に基づき講じた措置及び講じようとする措置の内容をインターネットの利用その他の適切な方法により公表しなければならない。

()

問8【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（業務の記録）

事業者等は、事業用自動車に係る運転者等の業務について、当該業務を行った運転者等ごとに国土交通省令で定める事項を記録させ、かつ、その記録を1年間保存しなければならないとされているが、記録する内容については荷主に関する事項はない。

()

問9【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運行記録計による記録）

事業者等は、全ての事業用自動車に係る運転者等の業務について、当該事業用自動車の瞬間速度、運行距離及び運行時間を運行記録計により記録し、かつ、その記録を一年間保存しなければならない。

()

問10【貨物自動車運送事業輸送安全規則】(運転者)

貨物自動車運送事業者の運転者は、事業用自動車の乗務について、疾病、疲労、睡眠不足その他の理由により安全な運転をすることができないおそれがあるときは、その旨を乗務後に貨物自動車運送事業者に申し出なければならない。

()

問11【貨物自動車運送事業輸送安全規則】(運行管理者の指導及び監督)

運行管理者は、貨物自動車運送事業輸送安全規則に規定する業務の適確な処理及び運行管理規程の遵守について、従業員に対する適切な指導及び監督を行わなければならない。

()

問12【自動車事故報告規則】(速報)

事業者等は、その使用する自動車について5人以上の重傷者を生じた事故があったときは、電話その他適当な方法により、24時間以内においてできる限り速やかに、その事故の概要を運輸監理部長又は運輸支局長に速報しなければならない。

()

問13【道路運送法】(有償旅客運送)

貨物自動車運送事業を営業者は、有償で旅客の運送をしてはならない。災害のため緊急を要するとき、その他やむを得ない事由がある場合であっても、旅客を乗車させる構造要件を備えていないことから、有償で旅客の運送をしてはならない。

()

問14【道路運送車両法】（運行の用に供してはならない場合）

道路運送車両法において、自動車（軽自動車、小型特殊自動車及び二輪の小型自動車を除く。）は「運行の用に供してはならない」と規定されているのは、次の事項に該当しない場合のみである。

1. 道路運送車両法に定める自動車登録ファイルの登録を受けたもの
 2. 道路運送車両法に定める自動車登録番号標を国土交通省令で定める位置及び方法により表示
 3. 道路運送車両法に定める自動車検査証の交付を受けているもの
- ()

問15【道路運送車両法】（整備管理者）

自動車の使用者は、国土交通省令で定める自動車であって国土交通省令で定める台数以上のものの使用の本拠ごとに、自動車の点検及び整備に関する実務の経験その他について国土交通省令で定める一定の要件を備える者のうちから、整備管理者を選任しなければならない。

()

問16【道路交通法】（乗車又は積載の方法）

車両の運転者は、運転者の視野若しくはハンドルその他の装置の操作を妨げ、後写鏡の効用を失わせ、車両の安定を害し、又は外部から当該車両の方向指示器、車両の番号標、制動灯、尾灯若しくは後部反射器を確認することができないこととなるような乗車をさせ、又は積載をして車両を運転してはならない。

()

問17【労働基準法】(解雇の予告)

使用者は、労働者を解雇しようとする場合においては、少なくとも15日前にその予告をしなければならない。15日前に予告をしない使用者は、15日分以上の平均賃金を支払わなければならない。但し、天災事変その他やむを得ない事由のために事業の継続が不可能となった場合又は労働者の責に帰すべき事由に基いて解雇する場合においては、この限りでない。

()

問18【労働安全衛生法】(中高年齢者等についての配慮)

事業者は、中高年齢者その他労働災害の防止上その就業に当たって特に配慮を必要とする者については、これらの者の心身の条件に応じて適正な配慮を行うよう努めなければならない。

()

問19【私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律】(「不公正な取引方法」に該当する行為)

「自己の取引上の地位が相手方に優越していることを利用して、正常な商慣習に照らして不当に、取引の相手方からの取引に係る商品の受領を拒み、取引の相手方から取引に係る商品を受領した後当該商品を当該取引の相手方に引き取らせ、取引の相手方に対して取引の対価の支払を遅らせ、若しくはその額を減じ、その他取引の相手方に不利益となるように取引の条件を設定し、若しくは変更し、又は取引を実施すること。」は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律における「不公正な取引方法」に該当する。

()

Ⅱ. 次の記述について、設問に該当するものを選択肢の中から選び()
内に記入しなさい。

問1 【貨物自動車運送事業法】(事業計画)

【貨物自動車運送事業法施行規則】(事業計画の変更)

事業者は、事業計画の変更をしようとするときは、貨物自動車運送事業法施行規則で定める届出事項を除き国土交通大臣の認可を受けなければならないが、認可事項に該当するものとして正しいものはどれか。次のア～オの中から1つ選び()内にその記号を記入しなさい。

- ア. 主たる事務所の位置の変更
- イ. 氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名の変更
- ウ. 営業所の名称の変更
- エ. 休憩睡眠施設の位置の変更
- オ. 主たる事務所の名称の変更

()

問2 【貨物自動車運送事業法】(運行管理者資格者証)

国土交通大臣が運行管理者資格者証を交付することができる者はどれか。ア～ウの中から1つ選び()内にその記号を記入しなさい。

- ア. 事業者等の営業所の管理に関し5年以上の実務の経験を有する者
- イ. 事業者等の自動車運転者の運転の業務に関し5年以上の実務の経験を有し、国土交通大臣が定める講習を5回以上受講した者
- ウ. 運行管理者試験に合格した者

()

問3【貨物自動車運送事業法】(事業)

貨物自動車運送事業法において、地方貨物自動車運送適正化事業実施機関が行う事業とされているものはどれか。次のア～エの中から2つ選び()にその記号を記入しなさい。

- ア. 輸送の安全を阻害する行為の防止その他貨物自動車運送事業法の遵守に関し貨物自動車運送事業者に対する指導を行うこと
- イ. 一般貨物自動車運送事業の供給輸送力が輸送需要量に対し著しく過剰となっている特定の地域を、緊急調整地域として指定すること
- ウ. 一般貨物自動車運送事業者に対し、事業計画に従い業務を行うべきことを命ずること
- エ. 貨物自動車運送事業に関する貨物自動車運送事業者又は荷主からの苦情を処理すること

() ()

問4【貨物自動車運送事業法施行規則】(事業計画)

事業計画として記載しなければならない事項ではないものはどれか。次のア～エの中から1つ選び()内にその記号を記入しなさい。

- ア. 貨物自動車利用運送を行うかどうかの別
- イ. 自動車車庫の位置及び収容能力
- ウ. 各営業所に配置する事業用自動車の種別及び事業用自動車の種別ごとの数
- エ. 運転者の氏名

()

問5【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（過労運転の防止）

貨物自動車運送事業者が事業用自動車の運転者又は特定自動運行保安員として選任してはならない者はどれか。次の中から1つ選び（ ）内に記号で記入しなさい。

- ア. 道路交通法違反により警察から検挙されたことのある者
- イ. 試みの使用期間中の者（14日を超えて引き続き使用されるに至った者を除く。）
- ウ. 事務職として採用した正規職員

（ ）

問6【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（乗務員）

貨物自動車運送事業者の乗務員は、事業用自動車の乗務について、遵守しなければならない事項が定められているが、誤っているものはどれか。次のア～ウの中から1つ選び（ ）内にその記号を記入しなさい。

- ア. 事業用自動車の故障等により踏切内で運行不能となったときは、速やかに列車に対し適切な防護措置をとること。
- イ. 過積載をした事業用自動車に乗務すること。
- ウ. 事業用自動車に貨物を積載するときは、偏荷重が生じないように積載すること。
- エ. 酒気を帯びて乗務しないこと。

（ ）

問7【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運行管理者の講習）

一般貨物自動車運送事業者等が、国土交通大臣が告示で定める講習（貨物自動車運送事業輸送安全規則の規定により国土交通大臣の認定を受けたもの）を受けさせなければならない運行管理者に該当しないのはどれか。次のア～ウの中から1つ選び（ ）にその記号を記入しなさい。

- ア. 運行管理者として新たに選任した者
 - イ. 高齢者（六十五才以上の者をいう。）
 - ウ. 最後に国土交通大臣が認定する講習を受講した日の属する年度の翌年度の末日を経過した者
- （ ）

問8【貨物自動車運送事業報告規則】（事業報告書及び事業実績報告書）

事業者が提出しなければならないとされている事業実績報告書についての報告期間及び提出時期として正しいものはどれか。次のア～エの中から1つ選び（ ）内にその記号を記入しなさい。

- ア. 各事業者の毎事業年度について、事業年度経過後100日以内
 - イ. 各事業者の毎事業年度について、事業年度経過後120日以内
 - ウ. 前年1月1日から12月31日までの期間を毎年5月31日まで
 - エ. 前年4月1日から3月31日までの期間を毎年7月10日まで
- （ ）

問9【道路運送車両法】（日常点検整備）（自動車の構造）（整備管理者）
（変更登録）

次の記述のうち、誤っているものはどれか。次のア～エの中から1つ選び（ ）
内にその記号を記入しなさい。

- ア. 自動車運送事業の用に供する自動車の使用者又はこれらの自動車を運行する者は、1日1回その運行の開始前において、国土交通省令で定める技術上の基準により、日常的に点検すべき事項について、目視等により自動車を点検しなければならない。
- イ. 自動車は、長さ、幅、高さ、車両総重量等について、国土交通省令で定める技術基準に適合するものでなければ運行の用に供してはならない。
- ウ. 大型自動車使用者等は、整備管理者に対し、その職務の執行に必要な権限を与えることができる。
- エ. 自動車の所有者は、登録されている使用の本拠の位置に変更があったときは、その事由があった日から道路運送車両法の定める期間以内に、国土交通大臣の行う変更登録の申請をしなければならない。

（ ）

問10【道路交通法】（交通事故の場合の措置）

交通事故があったとき、当該交通事故に係る車両等の運転者その他の乗務員が直ちに運転を停止して講じなければならない必要な措置として正しいものはどれか。次のア～ウの中から1つ選び（ ）にその記号を記入しなさい。

- ア. 運行管理者へ報告し、指示を仰ぐこと
- イ. 積載物の損傷の程度を調べ、荷主へ報告すること
- ウ. 負傷者を救護し、道路における危険を防止すること

（ ）

試験日	令和8年5月20日
-----	-----------

受験番号	
------	--

一般貨物自動車運送事業の経営許可等の申請に係る法令試験問題

申請者(法人)名 _____

受験者の氏名 _____

(注意事項)

1. 事業者とあるのは、一般貨物自動車運送事業者（特別積合せ貨物運送に係るものを除く）を指します。
2. 設問の文中には、法令上の表現（固有名詞を除く。）を一部省略しているものもあります。

I. 次の記述のうち、正しいものには○を、誤っているものには×を()内に記入しなさい。

問1【貨物自動車運送事業法】(定義)

この法律において「貨物自動車利用運送」とは、一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業を営業者が他の一般貨物自動車運送事業又は特定貨物自動車運送事業を営業者の行う運送（自動車を使用して行う貨物の運送に係るものに限る。）を利用してする貨物の運送をいう。

(○)

問2【貨物自動車運送事業法】(事業計画)

事業者が業務を行う場合には、事業計画に定めるところに従わなければならない。国土交通大臣は、事業者がこの規定に違反していると認めるときは、当該事業者に対し、事業計画に従い業務を行うべきこと及び役員解任を命ずることができる。

(×)

問3【貨物自動車運送事業法】(輸送の安全性の向上)

事業者は、輸送の安全の計画が最も重要であることを自覚し、適宜輸送の安全性の向上に努めなければならない。

(×)

問4【貨物自動車運送事業法】

(他の一般貨物自動車運送事業者の行う貨物の運送を利用する場合の措置)

一般貨物自動車運送事業者は、自らが引き受ける貨物の運送について他の一般貨物自動車運送事業者の行う運送(自動車を使用しないで貨物の運送を行わせることを内容とする契約によるものを除く。)を利用するときは、当該他の一般貨物自動車運送事業者に係る一般貨物自動車運送事業の健全な運営の確保に資するため、次に掲げる措置を講じなければならない。

- 一 その利用する運送に要する費用の概算額を把握した上で、当該概算額を勘案して利用の申込みをすること。
- 二 自らが引き受ける貨物の運送について荷主が提示する運賃又は料金が前号に規定する概算額を下回る場合にあっては、当該荷主に対し、運賃又は料金について交渉をしたい旨を申し出ること。
- 三 当該他の一般貨物自動車運送事業者が更に他の一般貨物自動車運送事業者の行う運送を利用する場合に関し二以上の段階にわたる委託の制限その他の条件を付すること。
- 四 その他一般貨物自動車運送事業の健全な運営の確保に資するためのものとして国土交通省令で定める措置

(×)

問5【貨物自動車運送事業法】(事業改善の命令)

国土交通大臣は、一般貨物自動車運送事業の適正かつ合理的な運営を確保するため必要があると認めるときは、事業者に対し、貨物の運送に関し生じた損害を賠償するために必要な金額を担保することができる保険契約を締結することを命ずることができる。

(○)

問6【貨物自動車運送事業法施行規則】（事業の休止及び廃止）

一般貨物自動車運送事業の休止又は廃止の届出書には、休止又は廃止を必要とした理由を記載しなければならない。

(○)

問7【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（一般貨物自動車運送事業者等による輸送の安全にかかわる情報）

事業者等は、国土交通大臣から貨物自動車運送事業法の規定による処分（輸送の安全に係るものに限る。）を受けたときは、遅滞なく、当該処分の内容並びに当該処分に基づき講じた措置及び講じようとする措置の内容をインターネットの利用その他の適切な方法により公表しなければならない。

(○)

問8【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（業務の記録）

事業者等は、事業用自動車に係る運転者等の業務について、当該業務を行った運転者等ごとに国土交通省令で定める事項を記録させ、かつ、その記録を1年間保存しなければならないとされているが、記録する内容については荷主に関する事項はない。

(×)

問9【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運行記録計による記録）

事業者等は、全ての事業用自動車に係る運転者等の業務について、当該事業用自動車の瞬間速度、運行距離及び運行時間を運行記録計により記録し、かつ、その記録を一年間保存しなければならない。

(×)

問10【貨物自動車運送事業輸送安全規則】(運転者)

貨物自動車運送事業者の運転者は、事業用自動車の乗務について、疾病、疲労、睡眠不足その他の理由により安全な運転をすることができないおそれがあるときは、その旨を乗務後に貨物自動車運送事業者に申し出なければならない。

(×)

問11【貨物自動車運送事業輸送安全規則】(運行管理者の指導及び監督)

運行管理者は、貨物自動車運送事業輸送安全規則に規定する業務の適確な処理及び運行管理規程の遵守について、従業員に対する適切な指導及び監督を行わなければならない。

(×)

問12【自動車事故報告規則】(速報)

事業者等は、その使用する自動車について5人以上の重傷者を生じた事故があったときは、電話その他適当な方法により、24時間以内においてできる限り速やかに、その事故の概要を運輸監理部長又は運輸支局長に速報しなければならない。

(○)

問13【道路運送法】(有償旅客運送)

貨物自動車運送事業を営業者は、有償で旅客の運送をしてはならない。災害のため緊急を要するとき、その他やむを得ない事由がある場合であっても、旅客を乗車させる構造要件を備えていないことから、有償で旅客の運送をしてはならない。

(×)

問14【道路運送車両法】(運行の用に供してはならない場合)

道路運送車両法において、自動車(軽自動車、小型特殊自動車及び二輪の小型自動車を除く。)は「運行の用に供してはならない」と規定されているのは、次の事項に該当しない場合のみである。

1. 道路運送車両法に定める自動車登録ファイルの登録を受けたもの
2. 道路運送車両法に定める自動車登録番号標を国土交通省令で定める位置及び方法により表示
3. 道路運送車両法に定める自動車検査証の交付を受けているもの

(×)

問15【道路運送車両法】(整備管理者)

自動車の使用者は、国土交通省令で定める自動車であって国土交通省令で定める台数以上のものの使用の本拠ごとに、自動車の点検及び整備に関する実務の経験その他について国土交通省令で定める一定の要件を備える者のうちから、整備管理者を選任しなければならない。

(○)

問16【道路交通法】(乗車又は積載の方法)

車両の運転者は、運転者の視野若しくはハンドルその他の装置の操作を妨げ、後写鏡の効用を失わせ、車両の安定を害し、又は外部から当該車両の方向指示器、車両の番号標、制動灯、尾灯若しくは後部反射器を確認することができないこととなるような乗車をさせ、又は積載をして車両を運転してはならない。

(○)

問17【労働基準法】(解雇の予告)

使用者は、労働者を解雇しようとする場合においては、少なくとも15日前にその予告をしなければならない。15日前に予告をしない使用者は、15日分以上の平均賃金を支払わなければならない。但し、天災事変その他やむを得ない事由のために事業の継続が不可能となった場合又は労働者の責に帰すべき事由に基いて解雇する場合においては、この限りでない。

(×)

問18【労働安全衛生法】(中高年齢者等についての配慮)

事業者は、中高年齢者その他労働災害の防止上その就業に当たって特に配慮を必要とする者については、これらの者の心身の条件に応じて適正な配慮を行うよう努めなければならない。

(○)

問19【私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律】(「不公正な取引方法」に該当する行為)

「自己の取引上の地位が相手方に優越していることを利用して、正常な商慣習に照らして不当に、取引の相手方からの取引に係る商品の受領を拒み、取引の相手方から取引に係る商品を受領した後当該商品を当該取引の相手方に引き取らせ、取引の相手方に対して取引の対価の支払を遅らせ、若しくはその額を減じ、その他取引の相手方に不利益となるように取引の条件を設定し、若しくは変更し、又は取引を実施すること。」は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律における「不公正な取引方法」に該当する。

(○)

Ⅱ. 次の記述について、設問に該当するものを選択肢の中から選び()
内に記入しなさい。

問1 【貨物自動車運送事業法】(事業計画)

【貨物自動車運送事業法施行規則】(事業計画の変更)

事業者は、事業計画の変更をしようとするときは、貨物自動車運送事業法施行規則で定める届出事項を除き国土交通大臣の認可を受けなければならないが、認可事項に該当するものとして正しいものはどれか。次のア～オの中から1つ選び()内にその記号を記入しなさい。

- ア. 主たる事務所の位置の変更
- イ. 氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名の変更
- ウ. 営業所の名称の変更
- エ. 休憩睡眠施設の位置の変更
- オ. 主たる事務所の名称の変更

(エ)

問2 【貨物自動車運送事業法】(運行管理者資格者証)

国土交通大臣が運行管理者資格者証を交付することができる者はどれか。ア～ウの中から1つ選び()内にその記号を記入しなさい。

- ア. 事業者等の営業所の管理に関し5年以上の実務の経験を有する者
- イ. 事業者等の自動車運転者の運転の業務に関し5年以上の実務の経験を有し、国土交通大臣が定める講習を5回以上受講した者
- ウ. 運行管理者試験に合格した者

(ウ)

問3【貨物自動車運送事業法】（事業）

貨物自動車運送事業法において、地方貨物自動車運送適正化事業実施機関が行う事業とされているものはどれか。次のア～エの中から2つ選び（ ）にその記号を記入しなさい。

- ア. 輸送の安全を阻害する行為の防止その他貨物自動車運送事業法の遵守に関し貨物自動車運送事業者に対する指導を行うこと
- イ. 一般貨物自動車運送事業の供給輸送力が輸送需要量に対し著しく過剰となっている特定の地域を、緊急調整地域として指定すること
- ウ. 一般貨物自動車運送事業者に対し、事業計画に従い業務を行うべきことを命ずること
- エ. 貨物自動車運送事業に関する貨物自動車運送事業者又は荷主からの苦情を処理すること

(ア) (エ)

問4【貨物自動車運送事業法施行規則】（事業計画）

事業計画として記載しなければならない事項ではないものはどれか。次のア～エの中から1つ選び（ ）内にその記号を記入しなさい。

- ア. 貨物自動車利用運送を行うかどうかの別
- イ. 自動車車庫の位置及び収容能力
- ウ. 各営業所に配置する事業用自動車の種別及び事業用自動車の種別ごとの数
- エ. 運転者の氏名

(エ)

問5【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（過労運転の防止）

貨物自動車運送事業者が事業用自動車の運転者又は特定自動運行保安員として選任してはならない者はどれか。次の中から1つ選び（ ）内に記号で記入しなさい。

- ア. 道路交通法違反により警察から検挙されたことのある者
- イ. 試みの使用期間中の者（14日を超えて引き続き使用されるに至った者を除く。）
- ウ. 事務職として採用した正規職員

（ イ ）

問6【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（乗務員）

貨物自動車運送事業者の乗務員は、事業用自動車の乗務について、遵守しなければならない事項が定められているが、誤っているものはどれか。次のア～ウの中から1つ選び（ ）内にその記号を記入しなさい。

- ア. 事業用自動車の故障等により踏切内で運行不能となったときは、速やかに列車に対し適切な防護措置をとること。
- イ. 過積載をした事業用自動車に乗務すること。
- ウ. 事業用自動車に貨物を積載するときは、偏荷重が生じないように積載すること。
- エ. 酒気を帯びて乗務しないこと。

（ イ ）

問7【貨物自動車運送事業輸送安全規則】（運行管理者の講習）

一般貨物自動車運送事業者等が、国土交通大臣が告示で定める講習（貨物自動車運送事業輸送安全規則の規定により国土交通大臣の認定を受けたもの）を受けさせなければならない運行管理者に該当しないのはどれか。次のア～ウの中から1つ選び（ ）にその記号を記入しなさい。

- ア. 運行管理者として新たに選任した者
- イ. 高齢者（六十五才以上の者をいう。）
- ウ. 最後に国土交通大臣が認定する講習を受講した日の属する年度の翌年度の末日を経過した者

（ イ ）

問8【貨物自動車運送事業報告規則】（事業報告書及び事業実績報告書）

事業者が提出しなければならないとされている事業実績報告書についての報告期間及び提出時期として正しいものはどれか。次のア～エの中から1つ選び（ ）内にその記号を記入しなさい。

- ア. 各事業者の毎事業年度について、事業年度経過後100日以内
- イ. 各事業者の毎事業年度について、事業年度経過後120日以内
- ウ. 前年1月1日から12月31日までの期間を毎年5月31日まで
- エ. 前年4月1日から3月31日までの期間を毎年7月10日まで

（ エ ）

問9【道路運送車両法】（日常点検整備）（自動車の構造）（整備管理者）
（変更登録）

次の記述のうち、誤っているものはどれか。次のア～エの中から1つ選び（ ）
内にその記号を記入しなさい。

- ア. 自動車運送事業の用に供する自動車の使用者又はこれらの自動車を運行する者は、1日1回その運行の開始前において、国土交通省令で定める技術上の基準により、日常的に点検すべき事項について、目視等により自動車を点検しなければならない。
- イ. 自動車は、長さ、幅、高さ、車両総重量等について、国土交通省令で定める技術基準に適合するものでなければ運行の用に供してはならない。
- ウ. 大型自動車使用者等は、整備管理者に対し、その職務の執行に必要な権限を与えることができる。
- エ. 自動車の所有者は、登録されている使用の本拠の位置に変更があったときは、その事由があった日から道路運送車両法の定める期間以内に、国土交通大臣の行う変更登録の申請をしなければならない。

（ウ）

問10【道路交通法】（交通事故の場合の措置）

交通事故があったとき、当該交通事故に係る車両等の運転者その他の乗務員が直ちに運転を停止して講じなければならない必要な措置として正しいものはどれか。次のア～ウの中から1つ選び（ ）にその記号を記入しなさい。

- ア. 運行管理者へ報告し、指示を仰ぐこと
- イ. 積載物の損傷の程度を調べ、荷主へ報告すること
- ウ. 負傷者を救護し、道路における危険を防止すること

（ウ）

北陸信越運輸局 (注)受験者数には「欠席者」を含む。

試験日	初回										再試験										合計										却下 件数	取下 件数						
	受験者数		内訳		合格者数		内訳		不合格者数	内訳		合格率	受験者数		内訳		合格者数		内訳		不合格者数	内訳		合格率	受験者数		内訳		合格者数				内訳		不合格者数	内訳		合格率
	新規	譲渡等	新規	譲渡等	新規	譲渡等	新規	譲渡等	新規	譲渡等	新規	譲渡等	新規	譲渡等	新規	譲渡等	新規	譲渡等	新規	譲渡等	新規	譲渡等	新規	譲渡等	新規	譲渡等	新規	譲渡等	新規	譲渡等			新規	譲渡等	新規	譲渡等	新規	譲渡等
1 R8.5.20	47	46	1	32	32	0	15	14	1	68.1%	9	8	1	6	6	0	3	2	1	66.7%	56	54	2	38	38	0	18	16	2	67.9%	0	3						
2																																						
3																																						
4																																						
5																																						
6																																						
合計	47	46	1	32	32	0	15	14	1	68.1%	9	8	1	6	6	0	3	2	1	66.7%	56	54	2	38	38	0	18	16	2	67.9%	0	3						